



## ■デマンドタクシー「のれんす号」について

胎内市では、年々進む高齢化に伴い、外出に不便を感じる交通弱者が多くなっていること、従来の路線バスではニーズに適応できず利用者が激減していることなどを踏まえ、平成20年9月に「胎内市地域公共交通総合連携計画」を策定し、平成21年4月からは新たな交通手段として予約制乗合方式のデマンドタクシーの運行を実施してきました。



利便性の高い運行サービスを提供することで、利用者の増加が期待されています。

### ①ドア to ドア方式

出発地から目的地に直接向かうことができるため、従来の路線バスでは成し得なかったきめ細かいサービス提供が可能となっています。そのため、特に高齢者等、交通弱者といわれる方の利用が増えてきました。

### ②発着地の自在性

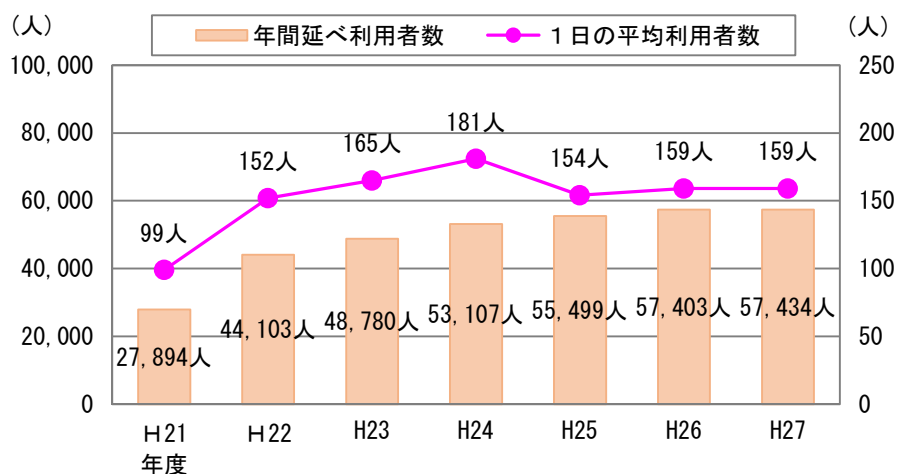
運行エリア内であれば、出発地及び目的地を予約により自由に設定できるため、利用者のニーズに応じて様々な用途に利用されることが、想定されます。

### ③利用者の意向に即した予約乗車

各方面ほぼ1時間に1便（中心市街地は各方面ごとに1便、計1便）を確保し、利用したい時間帯を選んで予約できるため、それぞれのライフスタイルに合わせた利用が可能です。特に、休日運行を開始したことで、市民の社会参画と地域住民の活発な交流の促進が期待されます。

## ■利用者数の推移

- ・平成25年度に日曜・祝日運行を開始した影響で1日の平均利用者数は減っているものの、平成21年度の運行開始以来、徐々に利用者が増えている。



資料：胎内市調べ